

フリーランスの業界団体における安全衛生対策と意識の実態把握のための調査研究

フリーランス当事者の安全衛生と意識の実態把握のための調査研究

<研究分担者>

横山 和仁 国際医療福祉大学大学院医学研究科公衆衛生学専攻 教授
順天堂大学大学院医学研究科 客員教授
浦川 加代子 国際医療福祉大学赤坂心理・医療マネジメント学部心理学科 非常勤講師
公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター ストレス科学研究所
客員研究員

研究要旨

フリーランスで働く人々の労働安全衛生の問題点を明らかにするために、フリーランス当事者の報酬、キャリアアップ、育児介護等との両立、健康管理、安全衛生対策の取り組みや、費用負担、補償、ガイドラインの実地状況等の実情とニーズを、インターネットパネル調査会社に登録したフリーランスに該当する働き方をしている人々を対象に質問票調査を行い、2,750名の回答をまとめた。

A. 研究目的

フリーランスの実態調査の収集・分析（アンケート調査）により、以下を明らかにする。

1. 必要とする支援やニーズ（安全衛生対策の取組や費用負担、補償の仕組み等の現状と今後への希望）
2. 「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」（内閣官房ほか、2021年3月26日）の認知度、実施状況、意見

B. 研究方法

インターネットパネル調査会社のパネルに登録したモニターのうち、15,000名程のフリーランスで働く者を対象とし、以下の質問項目を提供、調査実施を委託し、調査結果を解析した。回答が2,750名に達した時点で終了した。ここでフリーランスとは、①自身で事業等を営

んでいる、②従業員を雇用していない、③実店舗を持たない、④農林漁業従事者ではない、のすべてを満たすこととした。

回答者の基本属性のほか、以下が主要な質問項目である。

1. 実情

- ①報酬額を適正と考えるか
- ②スキル・キャリアアップ制度
- ③出産、育児、介護等との両立
- ④健康管理（健康保険、健康診断、健康教育、メンタルヘルス対策等）
- ⑤仕事が原因の負傷・罹病、仕事が打ち切られた場合等の支援
- ⑥労災保険特別加入制度の利用
- ⑦労災の経験・対応
- ⑧その他、福利厚生制度

2. ニーズ（自由記述）

- ①上記ガイドラインの実施状況、評価

- ②委託企業へ望むこと
- ③行政に望むこと

C. 研究結果

フリーランスで働く、2,750名の回答結果を以下にまとめた。

1) 回答者属性

回答者の属性について表1に示した。女性39.5%に比べ、男性が60.2%であった。年齢については、60歳以上が全体の2割強

(23.9%)を、30～59歳が約7割(69.9%)を占めた。

2) フリーランスとしての経歴

回答者の副業としてフリーランスをしている割合は6.9%と低く、5年以上フリーランスとして働いている人が69.3%を占めた。直近1年での取引企業は3社以下が73.7%であった。

(表2)

3) 労働時間

フリーランスとして週当たりの労働時間は、40時間未満は67.2%、40～59時間は23.1%、60～79時間は6.0%、80時間以上は3.7%であった。(労働基準法で定められている労働時間1週40時間)(表3)

4) 年収

フリーランスとしての2020年度年収は400万未満が62.1%、400～1,000万未満が20%、1,000万以上が4.4%であった。(2020年の給与所得者年収平均値433万：国税庁 令和2年分 民間給与実態統計調査)(表4)

5) 主な収入源となっている職種

クリエイティブ・Web・フォト系12.7%、営業・販売・小売系11.7%、その他15.2%であった(表5)。その他418件中の内訳で多いもの

は、サービス65件、不動産、アパート賃貸・管理、投資60件、建設・建築関係52件などが挙げられた。

6) フリーランスを始めた理由

「自分の裁量で仕事をするため」45.7%、「働く時間/場所を自由にするため」36.8%、「より自分の能力/資格を生かすため」36.0%、「収入を増やすため」23.5%、「ワークライフバランスを良くするため」22.3%、「子育てとの両立」、「介護との両立」、「自分の体調不良」のためが14.1%、「解雇」、「勤め先の倒産・廃業」が7.5%であった(表6)。その他5.4%(148件)の中で多く挙げたものは、「家業継承」(29件)、「正社員としての雇用形態がない」(26件)、「定年退職」(19件)、「やむを得ず」(13件)であった。

7) フリーランスを始める前後の変化

フリーランスを始め、回答者の57.1%が「自由時間」、51.5%が「満足度」、48.6%が「スキル・経験」、35.9%が「自己投資」、31.4%が「生産性」の増加を、また、38.3%が「働く時間」、42.5%が「人間関係のストレス」、36.4%が「仕事の量や質に関するストレス」、28.7%が「家庭・家族と仕事の軋轢についてのストレス」、39.4%が「収入」の減少を回答した。(表7)

8) フリーランス団体や仲介事業者への登録

フリーランス団体等には登録していない回答者が92.8%(表8)、理由として、「メリットがない」が57.6%、「登録しなくても、仕事を得られる」33.4%、「費用が掛かる」28.0%であった(表9)。自由回答では、「団体があることを知らなかった」24件、「登録しても仕事に来ない」、「登録できる団体がない」がそれぞれ5件、「よくわからない」7件、「面倒だ」3件であった。その他3.5%(87件)では自由記載欄

にて「知らなかった」(24件)が挙がっていた。

9) 満足度

「全般」、「労働時間」、「職場環境」、「取引先との契約内容」、「自身の健康状態」、「仕事上の人間関係」、「達成感・充実感」、「スキル・知識・経験の向上」、「家族のために使う時間」、「スキルアップや能力開発の時間」、「休息・趣味の時間」については、「非常に満足」、「満足」が回答者の44%~52.7%、「不満」、「非常に不満」が6.0%~13.4%を占めた。

「社会的地位」、「多様性にとんだ人脈形成」は、「非常に満足」、「満足」がそれぞれ24.3%、27.2%、「どちらでもない」がそれぞれ58.2%、58.1%、「不満」、「非常に不満」がそれぞれ17.5%、14.7%であった。

「福利厚生」、「収入」、「仕事による災害・病気の補償」は「非常に満足」、「満足」が11.4%~23.4%、「不満」、「非常に不満」が25.9%~38.6%であった(表10)。

10) 契約方法

契約方法は企業との直接契約が74.9%を占め、残りは請負・準委託契約であった(表11)。

11) 加入している健康診断

地域の国民健康保険が64.6%、次いで業界団体の国民健康保険(16.1%)であった(表12)。その他0.9%(26件)では自由記載欄にて「配偶者の健康保険」(7件)、「生活保護」(3件)、「建設国保」(3件)が挙げられていた。

12) 健康診断受診状況

「いつも」、「時々受けている」の合計は、「市町村が行う健康診断受診」が最も多く41.9%、「特定健康診査」が36.2%、「自治体が

行うがん検診」が26.3%、人間ドック等は20%を切る結果となった。いずれも受けていない人は35.2%(968名)であった(表13)。

13) 健康診断未受診の理由

表13の健康診断未受診の968名について、未受診の理由は、「面倒だから」(57.1%)、「時間がない」(30.0%)、「費用がない」(25.5%)などが挙げられた(表14)。その他4.8%(46件)では自由記載欄にて「必要ない」(15件)、「通院中」(9件)が挙がっていた。

14) 現在の健康状態

健康状態は、「よい」、「まあよい」が51.4%、「ふつう」が31.4%、「あまりよくない」、「よくない」が17.1%であった(表15)。

15) 既往歴

既往歴については、「腰痛」(39.7%)、「その他」(23.0%)、「高血圧」(20.1%)の順に多かった。いずれの疾患も、「かかったが、治療/通院していない」割合が、「かかったが、治った」、「現在治療/通院中」と比べ最も高く(「かかっていない」を除いた中で)、すべての疾患の合計に占める割合が42.3%であった。「脳出血・脳梗塞」64.8%、「腎臓病」60.8%、「心臓病」57.5%、「がん」62.9%(表16)

16) いずれかの病気に「かかったが治療・通院していない」理由

いずれかの病気に「かかったが、治療/通院していない」584名(21.2%)の未受診の理由は、「面倒だから」(44.5%)、「時間がない」(22.6%)、「費用がない」(22.3%)などであった(表17)。そのほかの理由では、自由記載欄で「市販薬等、自分で対処する」(9件)が挙げられた。

17) 取引先・仕事先からの健康に関する支援

支援があったのは、「健康保険に関する案内・紹介」、「健康診断を受ける病院・健診機関の紹介」、「健康診断にかかる費用のサポート」、「健康診断にかかる費用のサポート」、「病気の診断や治療のための病院・健診機関の紹介」、「病気の診断や治療のための費用のサポート」、いずれの項目も2.2%~6.3%と、「コロナワクチン接種」(10.6%)に比べ低かった(表18)。

18) 取引先・仕事先に要望したい支援

回答者の、取引先・仕事先へ求める支援は、「健康診断にかかる費用のサポート」、「病気の診断や治療のための費用のサポート」については、「大いに要望したい」、「要望したい」が、それぞれ21.3%、19.6%、「ワクチン接種」は16.7%~17.0%、それ以外については、「大いに要望したい」、「要望したい」が、12.9%~13.7%、また、いずれの項目も、「あまり要望したくない」、「要望したくない」が30.3%~33.1%を占めていた(表19)。

19) 所属団体・プラットフォームに要望したい支援

回答者の、所属団体・プラットフォームへ求める支援は、「健康診断にかかる費用のサポート」、「病気の診断や治療のための費用のサポート」については、「大いに要望したい」、「要望したい」が、それぞれ20.6%、19.0%、「ワクチン接種」は15.4~16.4%、それ以外については、「大いに要望したい」、「要望したい」が、13.4%~14.5%、また、いずれの項目も、「あまり要望したくない」、「要望したくない」が28.6%~32.7%を占めていた(表20)。

20) 仕事・職業生活についての強い不安、悩み、ストレス

4割(40.7%)が、仕事、職業生活についての強い不安、悩み、ストレスがあると回答した

(表21)。回答者がストレスを感じる事柄で該当する項目の主なものを3つ選択、順に、収入(71.7%)、仕事の安定性(44.3%)、仕事の将来性(28.8%)、老後(26.2%)、仕事の量(22.7%)に強い不安、悩み、ストレスを感じていると回答(表22)。自由記載欄では、「精神的な支えがない」、「社会保障」などが挙げられた。

21) 仕事・職業生活に関する不安、悩み、ストレスについての相談

仕事の悩み、ストレス等の相談相手として挙げられたものは、順に「家族・友人」(29.0%)、「仕事先・取引先の窓口・担当者」(10.9%)、「産業医以外の医師」(7.3%)であった。反対に「カウンセラー」(82.5%)、「産業医」(79.9%)、「クリニック等の医師」(73.2%)、「仕事先・取引先の窓口・担当者」(62.7%)の中には「相談できる人はいない」と回答した(表23)。「その他」を選択した人の自由記載欄では、相談相手として、「同業者」(25件)、「先輩」(19件)、「元同僚」(12件)などが挙げられた。

相談後のストレスの解消について「解消された」が34.2%、「されなかったが、楽になった」が57.7%であった(表24)。

22) ストレスチェック

ストレスチェックの実施について、「受けたことはない」回答者は84.7%、「会社勤めの時は受けたが、今は受けていない」が10.8%、「今も受けている」が4.7%であった(表25)。

フリーランスのみの勤務でストレスチェックを受けている回答者(96名)のうち、86.5%が「取引先・仕事先で」受けていた(表26)。

アンケート回答者全体(2,750名)のうち、ストレスチェック後の指導は、ほとんどの人が(96.5%~97.2%)が受けていなかった(表

27)。

何らかの指導を受けた回答者は、「取引先・仕事先」(41.6%~55.2%)、「取引先・仕事先以外」(44.8%~58.4%)で指導を受けていた(表28)。

23) 主な働き場所

主な働き場所は、「自宅・自オフィス」が1,939名(70.5%)、「自宅・自オフィス以外」が811名(29.5%)であった。「自宅・自オフィス以外」では、「企業・自治体等の事務所」(15.3%)、「教育・研究機関」(10.4%)、「建設現場」(9.9%)、「輸送・配送の現場」(7.0%)であった(表30)。その他29.5%の内訳は、自由記載欄より、顧客宅(43件)、案件ごとに異なる(23件)、店舗(21件)、客先(14件)などが挙げられた。

24) 有害業務作業

有害業務作業に従事している回答者は88名(「自宅・自オフィス以外」で働いているうちの11.1%)、有害業務作業に従事している回答者のなかでは「重量物の取扱い」4.4%、「粉塵発生」4.2%、「振動工具による身体への著しい振動」2.8%、「紫外線・赤外線にさらされる」2.8%が挙げられた(表31)。

有害業務作業に携わる回答者の中で、有害物質についての教育(取扱い上の注意及び事故時の応急措置等について)を受けた人は25名(19.4%)、そのうち、役立ったと回答したのは15.9%であった(表32)。

教育・説明をしたのは「仕事先・取引先の企業での教育・研修」(52.0%)、「機関が行う講習会」(20.0%)、「職場の上司・責任者」(12.0%)であった(表33)。

GHSに基づくラベル(化学物質の危険性・有害性などを絵表示などで容器に表示しているもの)、SDS(安全データシート、化学物質の名称・性質や危険・有害性、応急措置、取扱・

保管・廃棄方法などを記載しているもの)についてそれぞれ「知っている」回答者は32.6%、28.3%であった(表34)。

有害業務従事者88名の有害業務に関する健康診断は、いずれの項目も96.6%~98.9%が受けていなかった(表35)。

25) 職場の快適さ

自宅・自オフィス以外を主な働き場所としている回答者(811名)の職場の快適さについては、7割以上(70.1%~84.3%)が、「空気環境」、「温熱条件」、「視環境」、「音環境」、「空間作業等」、「トイレ」、「洗面所・更衣室」、「食堂等」、「給湯設備・談話室」、「休憩室」、「仮眠室・宿直室」いずれに対しても「快適」、「どちらかといえば快適」と答えた(表36)。

26) 作業による負担

自宅・自オフィス以外を主な働き場所としている回答者は、「不良姿勢作業(腰部、頸部に大きな負担がかかる等の不自然な姿勢)」

(30.8%)、「緊張作業等(高い緊張状態の持続や一定の姿勢の持続が求められる作業)」

(19.8%)、「重筋作業(荷物の持ち運び等を行う作業等、相当の筋力を要する作業)」

(18.5%)、「長時間作業(週40時間を超える、休日労働など)」(17.5%)、「高温作業等

(高温・多湿や騒音等にさらされる作業)」

(16.3%)、「運転や運搬作業等(自動車やバイクの運転、自転車での運搬など)」(14.8%)の作業内容の順に負担を感じていた(表37)。

27) 職場の施設・場所の利用

自宅・自オフィス以外を主な働き場所としている回答者の、職場の施設・場所の利用について、90.9%が「相談室等」、87.1%が「運動施設、緑地等」、85.7%が「シャワー室等の洗身施設」、70.9%が「休憩室・リフレッシュルーム等」の使用が許されていない(表38)。

28) 労働災害防止対策

労働災害防止への関心について、自宅・自オフィス以外を主な働き場所としている回答者（811名）の39.1%（317名）が「非常に」、「少し関心がある」と回答した（表39）。

上記317名のうち職場の労働災害防止対策が「適切」と回答した人が33.4%、「適切ではない」と回答した人が23.3%であった（表40）。

また、労災防止教育は、働き始めた際には13.8%が（表41）、仕事内容・職場の変化に伴い8.9%が（表42）受けたと回答。

上記、労災防止教育を受けた118名の中で、この教育が役立ったと回答した人は76.3%であった（表43）。

29) 「ヒヤリ・ハット体験」

「ヒヤリ・ハット体験」の有無について、経験があったのは、自宅・自オフィス以外を主な働き場所としている回答者（811名）のうち28.1%であった。

体験があった中で一番多かったものは、自動車、バイク、自転車などでの「運転や運搬に伴う危険」13.7%（111名）、以下、「物の置き方、作業場所の欠陥」6.8%（55名）、「自然的不安定な状態」5.5%（45名）であった（表44）。

この「ヒヤリ・ハット体験」を仕事先・取引先に報告したのは、体験のあった228名のうち52.6%（120名）（表45）で、仕事先・取引先の原因究明・事故防止のための措置など充分であったのが45.8%、対応はあったもの不十分であったのが45.0%、対応がなかったのが9.2%であった（表46）。

30) 労災体験

回答者2,750名で、今まで労災体験があった人は、13.5%（370名）であった。それぞれの

労災体験については、「転倒」が最多で4.2%（128名）、次いで、「切れ、こすれ」で4.2%（115名）、以下、道路での「交通事故」3.7%（102名）、「墜落・転落」2.4%（65名）であった（表47）。

労災経験のあった370名のうち、「転倒」（128名）で休業を取ったのは25.8%、「切れ、こすれ」（115名）では10.5%、道路での「交通事故」（102名）は29.4%、「墜落・転落」（65名）は41.5%であった（表48）。

治療費については、「全額私費」が49.7%、「公的医療保険受給、自己負担分は私費」が12.4%、「労災保険受給」は9.7%、「全額仕事先・取引先負担」は5.9%であった（表49）。

その労災について相談したことがある人は、370名中40名（37.8%）で、相談相手として、順に「仕事先・取引先の担当者」

（18.1%）、「保険会社」（10.5%）、「クリニック・病院」（8.9%）が挙げられた（表50）。

相談をして役に立ったと回答した人は、それぞれ、「保険会社」79.5%、「クリニック・病院」78.8%、「仕事先・取引先の医師・保健師」76.9%、「仕事先・取引先の担当者」74.6%、反対に役に立たなかったのが、「同業者」63.6%であった（表51）。

31) 労災可能性

働く環境において、労災の可能性が「ある」、「少しある」と回答したのは、2,750名のうち513名（18.6%）であった（表52）。この513名のうち、24.6%が誰かに相談しており、相談相手として、順に「仕事先・取引先の担当者」（12.5%）、「同業者」（5.3%）、「保険会社」（3.9%）が挙げられた（表53）。

相談をして役に立ったと回答した人は、それぞれ、「仕事先・取引先の医師・保健師」85.7%、「保険会社」80.0%、「その他」75.0%、「仕事先・取引先の担当者」71.9%、反対に役に立たなかったのが、「労働基準監督

署」57.1%であった（表54）。

32) 車両運転

フリーランスの仕事で車両の運転・操縦をする人は、1,153名（41.9%）で、そのうち74.8%が「普通自動車」の運転であった（表55）。

運転の目的は、「営業」が48.9%、「その他」27.1%、「軽貨物・軽車両配送」が12.5%であった（表56）。「その他」の内容は、「移動」79件、「打合せなど、人に会うための移動」42件、「通勤」33件であった（自由記載）。

車両の運転をする人の中で、交通事故を対象とした保険に入っているのは78.8%、分からないと回答した人は5.6%であった（表57）。

36) 交通事故

仕事で運転をする回答者1,153名で交通事故の経験があった人は、15.5%（179名）であった（表58）。それぞれ「有責割合50%以上の人身事故」が36.3%、「物損事故」は53.6%、「有責割合50%未満の人身事故」35.8%であった（表59）。

その事故について相談したことがある人は、38名中24名（63.2%）で、相談相手として、順に「保険会社」（42.1%）、「仕事先・取引先の担当者」（28.9%）、「弁護士・行政書士」（13.2%）が挙げられた（表60）。

相談をして役に立ったと回答した人は、「弁護士・行政書士」（80.0%）、「プラットフォーム・フリーランス団体」（75.0%）、「仕事先・取引先の担当者」（72.7%）、「保険会社」（62.5%）であった（表61）。

37) 運転についての不安

運転に不安が「ある」、「少しある」と答えた人は、全体のうち29.3%（530名）で（表62）、530名の挙げた不安の内容は、「自分の運転技術に不安がある」（32.6%）、「運転する距

離が長い」（23.6%）、「交代のドライバーがいない」（16.2%）、「自分の健康状態に不安がある」（16.0%）、「運転・拘束時間が長い」12.8%であった（表63）。

38) ガイドライン

2021年3月26日に、内閣官房、公正取引委員会、中小企業庁および厚生労働省が発表した「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」を「よく」または「少し」知っている人は239名（8.7%）であった（表64）。

このガイドラインの「フリーランス」の定義に当てはまるか、の問いに対し、「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」と回答した人は、67.6%、「どちらともいえないわからない」は12.9%であった（表65）。

フリーランスとして働く人々が、このガイドラインから外れた「問題となる行為」についての経験の有無については、「発注者からの仕事が、病気のような特別な理由がないと断れない」が23.0%、「報酬が時間当たりいくらで決められる」が20.6%、「受けた仕事をするのに非常に時間がかかるため、他の発注者の仕事を受ける余裕が全くない」は20.1%、「発注者から、通常予定されている仕事の他に、契約や予定にない業務も命令されたり頼まれたりする」は17.1%が、「よく」または「たまにある」と答えた（表66）。

また、仕事・取引先との関係については、「契約内容が一方的に決められてしまう（契約内容を交渉する余地がない、報酬の算出基準や方法を発注者に一方的に決定されてしまう等）」が10.0%、「報酬が労務内容によって決まっている（時間外/休日手当に相当するものがある、報酬を業務時間に基づいて算出している、一定額の報酬の支払いが保証されている等）」が9.7%、その他の項目については、あてはまらない、と回答した人がほとんど（96.0%

～96.9%)であった(表 67)。

39) 在宅テレワーク

回答者の中で、在宅テレワークに「該当する」のは、28.4% (780名)であった(表 68)。780名の中で「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」、「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン(基発 0712 第3号)」について知っていると回答した人は、いずれのガイドラインについても10.9%～12.9%であった(表 69)。

また、仕事の発注者から、これらのガイドラインについての情報提供があったと回答したテレワーカーは、全体の7.1%で、そのうち半分以上は「役に立たなかった」(53.6%)と回答した(表 70)。

40) 仕事のプレッシャーやストレス、問題の増加に対する反応 (Self-endangering Work Behavior)

プレッシャーやストレス、問題の増加に対し、「余暇の時も仕事の電話を受けられるようにする」ことが「よく」または「常にある」と回答した人が20.1%、「余暇でも(通常に加えて)働く」が17.2%、「余暇の時も自分の上司、同僚、顧客から連絡を受けられるようにする」が16.2%、「仕事をかたづけするために、カフェイン、ニコチン、アルコール、薬、その他を摂取する」12.5%、「パフォーマンスを上げるために、カフェイン、ニコチン、アルコール、薬、その他を摂取する」12.3%、「仕事をうまくやり抜くために、カフェイン、ニコチン、アルコール、薬、その他を摂取する」11.9%、「負担だと感じるペースで働く」が11.7%、「余暇の活動を取りやめて、その代わりに働く」11.0%、「自分には良くないと分かっているペースで働く」11.0%、「指示されなくても、1日10時間以上働く」31.5%、「仕事

のために、レクリエーション活動を断念する」30.7%、「病気でも職場に行く」8.9%であった。また反対に、「まったくない非常にまれである」または「まれである」と回答した反応は、順に「医者に思いとどまるよう忠告されていても働く」(80.6%)、「重い病気の症状があっても働く」(78.0%)、「病気でも、勤務時間・シフトいっぱい働く」(77.7%)、「病気であるにもかかわらず、無理をして仕事に行く」(76.5%)、「病気でも職場に行く」(74.1%)であった(表 71)。

41) フリーランスとして働くうえでの所感

今までの回答結果でも示されていたように、自由記載欄では、収入の不安定さ、少なさ269件、将来への不安116件に続き、社会保障に対する要望98件、社会保障以外のシステムに求める事柄80件、やりがい・満足が感じられる81件、立場が弱い78件などが挙げられた。

D. 考察および E. 結論

フリーランスとしての週当たりの労働時間は、労働基準法で定められている労働時間1週40時間を下回る人が主ではあったが、100時間を超える人も散見された。

仕事上の人間関係を含めた職場環境、仕事、プライベートにかかわる時間、自分の健康状態、達成感・充実感等については半数の人々が満足していた。その一方、収入、仕事による災害・病気の補償、福利厚生等に不満を抱える者も多かった。

健康診断を受けていない人が4割弱を占め、面倒、時間・お金がないとの回答が目立った。「必要がない」と考える人もいた。

健康状態が良くないという人が2割弱、病気に罹ったが病院を受診しない人も2割を占めた。未受診の理由は、健康診断と同様に、面倒、時間・お金がないことを理由に挙げる人が多く、市販薬等、自分で対処するとのコメント

が挙げられた。

回答者は取引先・仕事先、所属団体・プラットフォームに対して健康診断や健康維持のためのサポートを求めているものの、実際はワクチン接種に対する支援が1割ほどで、健康保険等、健康に対する支援はほとんど成されていなかった。

仕事上の強い不安、悩み、ストレスを感じている人々は4割を占め、収入や安定性、将来性、老後など、お金や今後強い不安を抱えている人が多かった。精神的な支えがない、社会保障などのコメントも目立った。

ストレスチェックは8割強が受けたことがなく、フリーランスとして働く前から継続している例(5%弱)は、面接指導とともに主に取引先・仕事先で受けていた。

3割の回答者が自宅・自オフィス以外で働いており、うち有害業務作業従事者は1割を占めた。そのうち3、4%の人々が「重量物の取り扱い」や「粉塵発生」、「振動工具による身体への著しい振動」、「紫外線・赤外線にさらされる」作業に従事していた。

労働災害防止には、4割ほどの人が関心を持っているが、そのうち3割が職場の労働災害防止対策を適切と回答、2割が適切ではないと回答した。労災防止教育は14.5%の人が、何らかのタイミングで受け、このうち8割弱がこの教育が役立ったと答えた。

自宅・自オフィス以外で働く人の中で「ヒヤリ・ハット体験」があったのは3割弱に上り、圧倒的に「運転や運搬に伴う危険」が多かった。

仕事で車両の運転・操縦をする人は、フリーランス全体の4割ほどで、そのうち7割強が「普通自動車」を運転していた。交通事故を対象とした保険加入者は8割弱、未加入者は1.5割、残りは分からないと回答した。交通事故の経験があった人は15%であった。運転に不安がある人は、全体の3割を占め、「自分の運転

技術に不安がある」、以外は、取引先が交代要員を設ける等で環境を改善することによって不安を軽減できる内容であった。

「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」を知っている人は全体の1割に満たなかった。ガイドラインから外れた、以下の「問題となる行為」については、受注される側の立場の弱さを浮き彫りにする内容であり、「病気のような特別な理由がないと発注者からの仕事を断れない」、「報酬が時間当たりいくらで決められる」、「受けた仕事をするのに非常に時間がかかるため、他の発注者の仕事を受ける余裕が全くない」、「発注者から、通常予定されている仕事の他に、契約や予定にない業務も命令されたり頼まれたりする」等に対して2割前後の人が「よく」または「たまにある」と答えた。

また、仕事・取引先との関係性については、「契約内容が一方的に決められてしまう(契約内容を交渉する余地がない、報酬の算出基準や方法を発注者に一方的に決定されてしまう等)」、「報酬が労務内容によって決まっている(時間外/休日手当に相当するものがある、報酬を業務時間に基いて算出している、一定額の報酬の支払いが保証されている等)」は1割の人が経験しており、その他の項目については、ほとんどの人があてはまらない、と回答した。

今までの回答結果でも示されていたように、自由記載欄では、多くの回答者が収入や将来への不安を感じていた。次いで、病気やけがで働けなくなった時の補償や、国民年金受給額、国民健康保険料等の社会保障システムに対する要望が目立ち、被雇用者として働く人々が受けている水準の社会保障を、フリーランサーは受けられていないことが明らかになった。

また、取引先との関係性、立場の弱さが対等な交渉を難しくしており、適切な報酬を受けられていない、待遇が改善されることなく働き続

けることを余儀なくしていることがうかがわれた。

反対に、時間や、仕事の仕方、場所など、自分の裁量で自由に働くことが出来ていると感じている回答者が目立った。子育てや、介護、自分の病気やプライベートライフとの両立と、ワークライフバランスが実現できるというコメントもあった。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特に記載すべきものなし

表 1. 回答者の属性 (2,750 名= 100%)

	人数	%
性 :		
男性	1,656	60.2
女性	1,087	39.5
不明	7	0.3
年齢 (歳) :		
20 未満	1	0.0
20～24	43	1.6
25～29	128	4.7
30～34	245	8.9
35～39	351	12.8
40～44	269	9.8
45～49	382	13.9
50～54	339	12.3
55～59	335	12.2
60 以上	657	23.9
配偶者の有無 :		
あり	1,209	44.0
離婚・死別	344	12.5
未婚	1,197	43.5
子の有無 :		
いる	1,044	38.0
いない	1,700	61.8
妊娠中	6	0.2
住所 :		
北海道	101	3.7
東北	126	4.6
関東	1,237	45.0
中部	388	14.1
近畿	504	18.3
中国・四国	189	6.9
九州・沖縄	205	7.5
最終学歴 :		
小・中学校	72	2.6
高等学校	629	22.9
専修各種学校 (専門学校)	404	14.7
短期大学・高等専門学校	225	8.2
大学	1,234	44.9
大学院修士課程	145	5.3
大学院博士課程	41	1.5

表2. フリーランス経歴 (2,750名=100%)

	人数	%
現在の職業形態：		
個人事業主（開業届提出済）	1,432	52.1
個人事業主（開業届未提出）	1,085	39.5
特定企業・組織から雇用されていて、なおかつ個人事業主（開業届提出済）としても副業している	85	3.1
特定企業・組織から雇用されていて、なおかつ個人事業主（開業届未提出）としても副業している	105	3.8
その他	43	1.6
フリーランスを始めてからの期間：		
6ヶ月未満	63	2.3
6ヶ月～2年未満	290	10.5
2～5年未満	491	17.9
5～10年未満	562	20.4
10年以上	1,344	48.9
直近1年で、フリーランスとして取引した企業数：		
1社	1,342	48.8
2社	369	13.4
3社	315	11.5
4社	121	4.4
5社	185	6.7
6社	38	1.4
7社	21	0.8
8社	30	1.1
9社	7	0.3
10社以上	322	11.7

表3. 週あたり平均労働時間

	人数	%
フリーランスとして：		
20時間未満	802	29.2
20～29時間	452	16.4
30～39時間	594	21.6
40～59時間	635	23.1
60～79時間	164	6.0
80～99時間	45	1.6
100時間以上	58	2.1
合計	2,750	100.0
被雇用者として：		
20時間未満	197	7.2
20～29時間	96	3.5
30～39時間	123	4.5
40～59時間	102	3.7
60～79時間	15	0.5
80～99時間	10	0.4
100時間以上	12	0.4
被雇用者としては働いていない	2,195	79.8
合計	2,750	100.0

表 4. 年収 (2020 年度)

	人数	%
フリーランスとして :		
200 万未満	1,040	37.8
200～400 万未満	669	24.3
400～600 万未満	339	12.3
600～800 万未満	147	5.3
800～1000 万未満	88	3.2
1000～1200 万未満	44	1.6
1200～1500 万未満	24	0.9
1500～2000 万未満	16	0.6
2000 万円以上	36	1.3
わからない	107	3.9
無回答	240	8.7
合計	2,750	100.0
被雇用者として :		
200 万未満	247	9.0
200～400 万未満	151	5.5
400～600 万未満	80	2.9
600～800 万未満	33	1.2
800～1000 万未満	15	0.5
1000～1200 万未満	13	0.5
1200～1500 万未満	14	0.5
1500～2000 万未満	4	0.1
2000 万円以上	11	0.4
被雇用者としての収入はない	1,895	68.9
わからない	94	3.4
無回答	193	7.0
合計	2,750	100.0

表 5. フリーランスとしての主な職種

	人数	%
エンジニア・技術開発系	213	7.7
クリエイティブ・Web・フォト系	350	12.7
出版・メディア系	78	2.8
映像制作系	38	1.4
コンサルティング系	89	3.2
通訳翻訳系	51	1.9
美容ファッション系	91	3.3
企画系（マーケティング・広報など）	24	0.9
事務・バックオフィス系	125	4.5
人材系	21	0.8
ライフサポート系	17	0.6
営業・販売・小売系	321	11.7
スポーツ・健康系	68	2.5
医療福祉系	95	3.5
飲食系	66	2.4
士業系	150	5.5
金融保険系	65	2.4
教育系	196	7.1
芸術系	199	7.2
運輸・配送系（トラック、バン等の自動車使用）	51	1.9
運輸・配送系（自転車、バイク、スクーターの使用）	24	0.9
その他	418	15.2
合計	2,750	100.0

表 6. フリーランスを始めた理由（複数回答可）

	人数	%
収入を増やすため	645	23.5
より自分の能力/資格を生かすため	990	36.0
自分の裁量で仕事をするため	1,257	45.7
ワークライフバランスを良くするため	612	22.3
ライフイベントに合わせて業務量を調整するため	208	7.6
働く時間/場所を自由にするため	1,012	36.8
挑戦したいこと/やってみたいことがあるため	460	16.7
子育てとの両立のためにやむを得ず	85	3.1
介護との両立のためにやむを得ず	80	2.9
会社から解雇されたため	94	3.4
勤め先が倒産・廃業したため	114	4.1
自分の体調不良のため	224	8.1
その他	148	5.4

表 7. フリーランスを始める前後の変化 (2,750 名=100%)

	増え (上がった) た 数 (%)	変わらない 数 (%)	減 (下が) った 数 (%)
働く時間	591 (21.5)	1,106 (40.2)	1,053 (38.3)
人脈	869 (31.6)	1,267 (46.1)	614 (22.3)
収入	766 (27.9)	900 (32.7)	1,084 (39.4)
スキル/経験	1,336 (48.6)	1,242 (45.2)	172 (6.3)
満足度	1,415 (51.5)	1,121 (40.8)	214 (7.8)
生産性	863 (31.4)	1,547 (56.3)	340 (12.4)
自由時間	1,571 (57.1)	829 (30.1)	350 (12.7)
自己投資	988 (35.9)	1,512 (55.0)	250 (9.1)
ストレス (仕事の量や質)	558 (20.3)	1,192 (43.3)	1,000 (36.4)
ストレス (人間関係)	388 (14.1)	1,192 (43.3)	1,170 (42.5)
ストレス (家庭・家族と仕事の軋轢)	350 (12.7)	1,610 (58.5)	790 (28.7)

表 8. フリーランス団体や仲介事業者への登録 (複数回答可)

	数	%
フリーランス団体 (例、フリーランス協会)	56	2.0
仲介事業者 (プラットフォーム型、業務内容・契約など直接企業とやりとりする)	49	1.8
仲介事業者 (エージェント型、エージェントのあっせんを介して企業とやりとりする)	36	1.3
仲介事業者 (再委託型、仲介事業者が委託された仕事を、再委託として受ける)	30	1.1
仲介事業者 (メディア型、サイト、SNS 等で掲載している業務委託案件に直接応募)	38	1.4
いずれにも登録していない	2,553	92.8

表 9. フリーランス団体や仲介事業者に登録しない理由 (複数回答可)

	数	%
費用 (会費など) がかかる	716	28.0
メリットがない	1,471	57.6
登録しなくても、以前の勤務先 (会社) からフリーランスとしての仕事を得られる	320	12.5
登録しなくても、以前の勤務先 (会社) 以外の知人や友人からフリーランスとしての仕事を得られる	534	20.9
自分で開設したホームページでフリーランスとしての仕事を得られる	212	8.3
その他	87	3.4

表 10. 満足度 (2,750 名=100%)

	非常に満足 数 (%)	満足 数 (%)	どちらでもない 数 (%)	不満 数 (%)	非常に不満 数 (%)
全般	290 (10.5)	1,109 (40.3)	1,104 (40.1)	183 (6.7)	64 (2.3)
労働時間	342 (12.4)	1,098 (39.9)	1,027 (37.3)	216 (7.9)	67 (2.4)
職場環境 (照明、空調、換気など)	356 (12.9)	1,070 (38.9)	1,151 (41.9)	139 (5.1)	34 (1.2)
取引先との契約内容	190 (6.9)	797 (29.0)	1,456 (52.9)	243 (8.8)	64 (2.3)
自分の健康状態	309 (11.2)	974 (35.4)	1,101 (40.0)	271 (9.9)	95 (3.5)
福利厚生	85 (3.1)	314 (11.4)	1,639 (59.6)	491 (17.9)	221 (8.0)
仕事上の人間関係	322 (11.7)	902 (32.8)	1,346 (48.9)	128 (4.7)	52 (1.9)
達成感/充実感	444 (16.1)	1,007 (36.6)	1,109 (40.3)	139 (5.1)	51 (1.9)
スキル/知識/経験の向上	379 (13.8)	957 (34.8)	1,230 (44.7)	143 (5.2)	41 (1.5)
家族のために使う時間	333 (12.1)	877 (31.9)	1,365 (49.6)	125 (4.5)	50 (1.8)
スキルアップ、能力開発の時間	291 (10.6)	883 (32.1)	1,390 (50.5)	144 (5.2)	42 (1.5)
休息、趣味の時間	460 (16.7)	945 (34.4)	1,074 (39.1)	204 (7.4)	67 (2.4)
社会的地位	154 (5.6)	514 (18.7)	1,601 (58.2)	326 (11.9)	155 (5.6)
収入	164 (6.0)	478 (17.4)	1,047 (38.1)	691 (25.1)	370 (13.5)
多様性に富んだ人脈形成	178 (6.5)	570 (20.7)	1,597 (58.1)	298 (10.8)	107 (3.9)
仕事による災害・病気の補償	81 (2.9)	234 (8.5)	1,480 (53.8)	565 (20.5)	390 (14.2)
その他	6 (2.5)	10 (4.2)	203 (86.0)	4 (1.7)	13 (5.5)

表 11. 契約方法

	数	%
企業との直接契約	2,059	74.9
仲介事業者、マッチングサービス経由の 直接契約 (請負・準委任契約)	449	16.3
再委託契約 (請負・準委任契約)	242	8.8
合計	2,750	100.0

表 12. 加入している健康保険

	数	%
地域の国民健康保険	1,777	64.6
国民健康保険組合 (業界団体の国民健康保険)	442	16.1
健康保険組合・共済組合 (現在、被雇用者としても働いている方)	135	4.9
これまで健康保険組合・共済組合の任意継続	75	2.7
健康保険には加入しておらず、家族の健康保険の被扶養者となっている	256	9.3
健康保険には加入しておらず、民間の保険会社の保険 (生命保険の疾病特約など)	39	1.4
その他	26	0.9
合計	2,750	100.0

表 13. 健康診断受診状況 (2,750 名=100%)

	いつも 数 (%)	時々 数 (%)	受けていない 数 (%)
市町村が行う一般健康診断	527 (19.2)	625 (22.7)	1,598 (58.1)
特定健康診査 (地域の国民健康保険)	495 (18.0)	500 (18.2)	1,755 (63.8)
国民健康保険組合 (業界団体の国民健康保険) の健康診断・人間ドック	164 (6.0)	295 (10.7)	2,291 (83.3)
民間の病院の健康診断・人間ドック (自分で支払う)	169 (6.1)	360 (13.1)	2,221 (80.8)
取引先/仕事先の会社が行う健康診断	107 (3.9)	156 (5.7)	2,487 (90.4)
自治体が行うがん検診	297 (10.8)	427 (15.5)	2,026 (73.7)
その他の健康診断	112 (4.1)	325 (11.8)	2,313 (84.1)

*いずれも受けていない : 968 名 (35.2%)

表 14. 健康診断未受診の理由 (複数回答可)

	数	%
時間がない	290	30.0
費用がない	247	25.5
どこで受けたらよいかわからない	166	17.1
面倒だから	553	57.1
結果を取引先に知られたくない	15	1.5
病気が見つかるのが不安	107	11.1
その他	46	4.8
合計	968	100.0

表 15. 現在の健康状態

	数	%
よい	617	22.4
まあよい	798	29.0
ふつう	864	31.4
あまりよくない	357	13.0
よくない	114	4.1
合計	2,750	100.0

表 16. 既往歴 (2,750 名=100%)

	かかったことが ない 数 (%)	かかったが治った 数 (%)	現在治療中/通院中 数 (%)	かかったが、治療/ 通院していない 数 (%)
心臓病	2,517 (91.5)	46 (1.7)	53 (1.9)	134 (4.9)
糖尿病	2,463 (89.6)	32 (1.2)	129 (4.7)	126 (4.6)
脳出血・脳梗塞	2,557 (93.0)	38 (1.4)	30 (1.1)	125 (4.5)
がん	2,491 (90.6)	76 (2.8)	46 (1.7)	137 (5.0)
精神疾患	2,349 (85.4)	105 (3.8)	138 (5.0)	158 (5.7)
高血圧	2,198 (79.9)	55 (2.0)	319 (11.6)	178 (6.5)
腎臓病	2,533 (92.1)	52 (1.9)	33 (1.2)	132 (4.8)
腰痛	1,657 (60.3)	477 (17.3)	165 (6.0)	451 (16.4)
その他	2,117 (77.0)	201 (7.3)	235 (8.5)	197 (7.2)

表 17. いずれかの病気に「かかったが治療・通院していない」*理由（複数回答可）

	数	%
時間がない	132	22.6
費用がない	130	22.3
受診場所がわからない	63	10.8
面倒だから	260	44.5
病気であることを取引先に知られたくない	16	2.7
その他	124	21.2

*いずれかの病気に「かかったが、治療/通院していない」584名

表 18. 取引先・仕事先からの健康に関する支援（2,750名=100%）

	ある 数 (%)	ない 数 (%)
健康保険に関する案内・紹介	156 (5.7)	2,594 (94.3)
健康診断を受ける病院・健診機関の紹介	134 (4.9)	2,616 (95.1)
健康診断にかかる費用のサポート	138 (5.0)	2,612 (95.0)
健康診断後の保健指導や健康相談	96 (3.5)	2,654 (96.5)
病気の診断や治療のための病院・健診機関の紹介	96 (3.5)	2,654 (96.5)
病気の診断や治療のための費用のサポート	83 (3.0)	2,667 (97.0)
新型コロナワクチンの接種	291 (10.6)	2,459 (89.4)
新型コロナワクチン以外のワクチン接種	174 (6.3)	2,576 (93.7)
その他	60 (2.2)	2,690 (97.8)

表 19. 取引先・仕事先に要望したい支援（2,750名=100%）

	大いに 要望したい 数 (%)	要望したい 数 (%)	どちらでも]よい 数 (%)	あまり要望 したくない 数 (%)	要望したく ない 数 (%)
健康保険に関する案内・紹介	100 (3.6)	256 (9.3)	1,509 (54.9)	198 (7.2)	687 (25.0)
健康診断を受ける病院・健診機関の紹介	86 (3.1)	279 (10.1)	1,475 (53.6)	228 (8.3)	682 (24.8)
健康診断にかかる費用のサポート	211 (7.7)	374 (13.6)	1,330 (48.4)	180 (6.5)	655 (23.8)
健康診断後の保健指導やその他の健康相談	110 (4.0)	258 (9.4)	1,483 (53.9)	216 (7.9)	683 (24.8)
病気の診断や治療のための病院・健診機関の紹介	107 (3.9)	266 (9.7)	1,484 (54.0)	205 (7.5)	688 (25.0)
病気の診断や治療のための費用のサポート	183 (6.7)	355 (12.9)	1,379 (50.1)	181 (6.6)	652 (23.7)
新型コロナワクチンの接種	165 (6.0)	322 (11.7)	1,358 (49.4)	193 (7.0)	712 (25.9)
新型コロナワクチン以外のワクチン接種	155 (5.6)	313 (11.4)	1,378 (50.1)	198 (7.2)	706 (25.7)
その他	76 (2.8)	131 (4.8)	1,635 (59.5)	179 (6.5)	729 (26.5)

表 20. 所属団体・プラットフォームに要望したい支援 (2,750名=100%)

	大いに要望 したい	要望したい	どちらでも よい	あまり要望 したくない	要望したく ない
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)
健康保険に関する案内・紹介	101 (3.7)	279 (10.1)	1,551 (56.4)	180 (6.5)	639 (23.2)
健康診断を受ける病院・健診機関の紹介	91 (3.3)	308 (11.2)	1,527 (55.5)	186 (6.8)	638 (23.2)
健康診断にかかる費用のサポート	183 (6.7)	382 (13.9)	1,399 (50.9)	175 (6.4)	611 (22.2)
健康診断後の保健指導やその他の健康相談	98 (3.6)	269 (9.8)	1,560 (56.7)	189 (6.9)	634 (23.1)
病気の診断や治療のための病院・健診機関の紹介	93 (3.4)	287 (10.4)	1,552 (56.4)	183 (6.7)	635 (23.1)
病気の診断や治療のための費用のサポート	174 (6.3)	350 (12.7)	1,438 (52.3)	169 (6.1)	619 (22.5)
新型コロナワクチンの接種	137 (5.0)	314 (11.4)	1,423 (51.7)	189 (6.9)	687 (25.0)
新型コロナワクチン以外のワクチン接種	127 (4.6)	296 (10.8)	1,448 (52.7)	200 (7.3)	679 (24.7)
その他	41 (1.5)	91 (3.3)	1,718 (62.5)	170 (6.2)	730 (26.5)

表 21. 仕事・職業生活についての強い不安、悩み、ストレス

	数	%
ある	1,118	40.7
ない	1,632	59.3
合計	2,750	100.0

表 22. ストレスを感じる事柄で該当する項目 (主なもの3つ以内)

	数	%
仕事の質	178	15.9
仕事の量	254	22.7
仕事への適性	50	4.5
仕事上の人間関係	100	8.9
収入	802	71.7
契約	115	10.3
仕事の安定性	495	44.3
仕事の将来性	322	28.8
老後	293	26.2
事故や災害の経験	55	4.9
ハラスメント (セクハラ、パワハラ等)	25	2.2
その他	33	3.0

表 23. 仕事・職業生活に関する不安、悩み、ストレスについて相談できる人と実際の相談の有無 (2,750名=100%)

	相談できる人がいて、 実際に 相談したことがある	相談できる人は いるが、 相談したことはない	相談できる人はいない
	数 (%)	数 (%)	数 (%)
仕事先・取引先の窓口・担当者	301 (10.9)	724 (26.3)	1,725 (62.7)
家族・友人	798 (29.0)	1,001 (36.4)	951 (34.6)
取引先・仕事先の医師 (産業医)	105 (3.8)	448 (16.3)	2,197 (79.9)
上記以外の医師 (クリニック等)	200 (7.3)	538 (19.6)	2,012 (73.2)
カウンセラー等	86 (3.1)	396 (14.4)	2,268 (82.5)
その他	46 (1.7)	391 (14.2)	2,313 (84.1)

表 24. 相談後ストレスの解消

	数	%
解消された	319	34.2
されなかったが、楽になった	538	57.7
されず、楽にならなかった	75	8.0
合計	932	100.0

表 25. ストレスチェック

	数	%
会社勤めの時に受け、今も受けている。	96	3.5
会社勤めの時は受けたが、今は受けていない。	292	10.6
雇用先で受けている（フリーランス以外に被雇用者として勤務）	34	1.2
受けたことはない	2,328	84.7
合計	2,750	100.0

表 26. ストレスチェック実施主

	数	%
取引先・仕事先	83	86.5
上記以外	13	13.5
合計	96	100.0

表 27. ストレスチェック後の指導（2,750名=100%）

	ある 数 (%)	ない 数 (%)
医師による面接指導	96 (3.5)	2,654 (96.5)
保健師等による保健指導	77 (2.8)	2,673 (97.2)
チェックリストによる疲労蓄積度確認	91 (3.3)	2,659 (96.7)
その他	30 (1.1)	2,720 (98.9)

表 28. 指導の実施者

	取引先・仕事先 数 (%)	取引先・仕事先以外 数 (%)	合計 数 (%)
医師による面接指導	53 (55.2)	43 (44.8)	96 (100.0)
保健師等による保健指導	32 (41.6)	45 (58.4)	77 (100.0)
チェックリストによる疲労蓄積度確認	45 (49.5)	46 (50.5)	91 (100.0)
その他	14 (46.7)	16 (53.3)	30 (100.0)

表 29. 主な働き場所

	数	%
自宅・自オフィス	1,939	70.5
自宅・自オフィス以外	811	29.5
合計	2,750	100.0

表 30. 主な働き場所（自宅・自オフィス以外）

	数	%
企業・自治体等の事務所	124	15.3
製造・加工・修理の現場	30	3.7
建設現場	80	9.9
販売の現場	49	6.0
船舶・港湾	0	0.0
教育・研究機関	84	10.4
劇場・演芸場	45	5.5
介護・福祉施設	7	0.9
クリニック・病院	15	1.8
廃棄物処理・回収の現場	0	0.0
運輸・配送の現場	57	7.0
倉庫	6	0.7
飲食店	41	5.1
シェアオフィス	34	4.2
その他	239	29.5
合計	811	100.0

表 31. 有害業務作業（複数回答可）

	数	%
鉛の取扱い	2	0.2
粉じん発生	34	4.2
有機溶剤の取扱い	17	2.1
特定化学物質の製造又は取扱い	5	0.6
放射線にさらされる	3	0.4
除染等業務、特定線量下	0	0.0
強烈な騒音	13	1.6
振動工具による身体への著しい振動	23	2.8
紫外線、赤外線にさらされる	23	2.8
重量物の取扱い	36	4.4
酸素欠乏のおそれ	9	1.1
その他の有害性がある化学物質の製造又は取扱い	5	0.6
上記のいずれにも従事していない	723	89.1
合計	811	100.0

表 32. 有害物質についての教育又は説明（取扱い上の注意及び事故時の応急措置等について）

	数	%
受けたことがあり、役立った	14	15.9
受けたが、役立たなかった	11	12.5
受けたことがない	63	71.6
合計	88	100.0

表 33. 教育・説明者

	数	%
職場の上司・責任者	3	12.0
仕事先・取引先の企業での教育・研修	13	52.0
登録団体・プラットフォームによる教育・研修	2	8.0
一般社団法人安全衛生マネジメント協会などの機関が行う講習会	5	20.0
その他	2	8.0
合計	25	100.0

表 34. 化学物質取扱い業務者 (46=100%)

	はい 数 (%)	いいえ 数 (%)
GHS* ¹ に基づくラベルを知っている	15 (32.6)	31 (67.4)
SDS* ² を知っている	13 (28.3)	33 (71.7)

*¹化学物質の危険性・有害性などを絵表示などで容器に表示

*²安全データシート、化学物質の名称・性質や危険・有害性、応急措置、取扱・保管・廃棄方法などを記載

表 35. 有害業務に従事の以下の健康診断の受診の有無 (88名=100%)

	ある 数 (%)	ない 数 (%)
鉛健康診断	1 (1.1)	87 (98.9)
四アルキル鉛健康診断	2 (2.3)	86 (97.7)
酸取扱者等の歯科健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
石綿健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
じん肺健康診断	2 (2.3)	86 (97.7)
有機溶剤健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
特定化学物質健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
電離放射線健康診断	2 (2.3)	86 (97.7)
除染等電離放射線健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
騒音作業健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
振動業務健康診断	2 (2.3)	86 (97.7)
紫外線/赤外線関連業健診	3 (3.4)	85 (96.6)
レーザー光線健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
高気圧健康診断	2 (2.3)	86 (97.7)
情報機器作業健康診断 (以前の VDT 健康診断に相当)	3 (3.4)	85 (96.6)
引金付工具健康診断	1 (1.1)	87 (98.9)
深夜業対象の定期に実施 (半年以内毎) される健康診断	3 (3.4)	85 (96.6)
その他	2 (2.3)	86 (97.7)

※本質問では、指導勧奨による健康診断も含んでいる

表 36. 職場の快適さ (811 名=100%)

	快適である	どちらかと いえば 快適である	どちらかと いえば 不快である	不快である
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)
空気環境	263 (32.4)	397 (49.0)	126 (15.5)	25 (3.1)
温熱条件	228 (28.1)	396 (48.8)	148 (18.2)	39 (4.8)
視環境	249 (30.7)	435 (53.6)	108 (13.3)	19 (2.3)
音環境	249 (30.7)	434 (53.5)	109 (13.4)	19 (2.3)
作業空間等	230 (28.4)	450 (55.5)	114 (14.1)	17 (2.1)
トイレ	230 (28.4)	436 (53.8)	118 (14.5)	27 (3.3)
洗面所・更衣室	213 (26.3)	434 (53.5)	135 (16.6)	29 (3.6)
食堂等	180 (22.2)	428 (52.8)	165 (20.3)	38 (4.7)
給湯設備・談話室	176 (21.7)	435 (53.6)	167 (20.6)	33 (4.1)
休憩室	171 (21.1)	423 (52.2)	175 (21.6)	42 (5.2)
仮眠室・宿直室	152 (18.7)	417 (51.4)	188 (23.2)	54 (6.7)

表 37. 作業による負担 (811 名=100%)

	感じている	少し、 感じている	あまり 感じていない	ほとんど/まったく 感じていない
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)
不良姿勢作業* ¹	68 (8.4)	182 (22.4)	289 (35.6)	272 (33.5)
重筋作業* ²	35 (4.3)	115 (14.2)	296 (36.5)	365 (45.0)
高温作業等* ³	29 (3.6)	103 (12.7)	277 (34.2)	402 (49.6)
緊張作業等* ⁴	37 (4.6)	123 (15.2)	284 (35.0)	367 (45.3)
機械操作等* ⁵	8 (1.0)	67 (8.3)	280 (34.5)	456 (56.2)
長時間労働* ⁶	36 (4.4)	106 (13.1)	276 (34.0)	393 (48.5)
運転や運搬作業等* ⁷	26 (3.2)	94 (11.6)	264 (32.6)	427 (52.7)
夜勤・シフト、交代勤務など	16 (2.0)	68 (8.4)	234 (28.9)	493 (60.8)

*¹腰部、頸部に大きな負担がかかる等の不自然な姿勢*²荷物の持ち運び等をいつも行う作業等、相当の筋力を要する作業*³高温・多湿や騒音等にさらされる作業*⁴高い緊張状態の持続や一定の姿勢の持続が求められる作業*⁵操作がしにくい機械設備等の操作*⁶週 40 時間を超える、休日労働など*⁷自動車やバイクの運転、自転車での運搬など

表 38. 職場の施設・場所の利用 (811 名=100%)

	はい	いいえ
	数 (%)	数 (%)
休憩室・リフレッシュルーム等	236 (29.1)	575 (70.9)
シャワー室等の洗身施設	116 (14.3)	695 (85.7)
相談室等	74 (9.1)	737 (90.9)
運動施設、緑地等	105 (12.9)	706 (87.1)

表 39. 労働災害防止対策への関心

	数	%
非常に関心がある	59	7.3
少し関心がある	258	31.8
あまり関心がない	317	39.1
全く関心がない	177	21.8
合計	811	100.0

表 40. 職場の労働災害防止対策について（表 39. 非常に/少し関心がある 317 名）

	数	%
適切である	106	33.4
適切ではない	74	23.3
どちらともいえない	137	43.2

表 41. 働き始めた際の労災防止教育

	数	%
受けた	112	13.8
受けなかった	699	86.2
合計	811	100.0

表 42. 仕事の内容/職場の変化に伴う労災防止教育

	数	%
受けた	72	8.9
受けなかった	459	56.6
職場は変わっていない	280	34.5
合計	811	100.0

表 43. 労災防止教育は役立っているか（表 41.、42.で教育を受けた 118 名）

	数	%
役立っている	32	27.1
少し役立っている	58	49.2
あまり役立っていない	27	22.9
役立っていない	1	0.8
合計	811	100.0

表 44. 「ヒヤリ・ハット体験」の有無・状態（複数回答可）

	数	%
物自体の欠陥（故障の未処理、整備不良等）	37	4.6
防護措置、安全装置の欠陥（防護、安全装置がない、又は不完全）	29	3.6
物の置き方、作業場所の欠陥（物の置き場所の不適切、建物の欠陥等）	55	6.8
保護具、服装等の不備（保護具の使用を指定していない等）	28	3.5
作業環境の欠陥（換気の欠陥、照明設備の欠陥、高温・低温等）	19	2.3
第三者（物）による不安全な状態	41	5.1
自然的不安定な状態（気象状態、自然の危険等）	45	5.5
作業方法の不備（不適切な工具、機械装置の使用、手順の誤り等）	40	4.9
犬、ハチなど動物・昆虫などによる脅威	31	3.8
運転や運搬に伴う危険（自動車、バイク、自転車など）	111	13.7
その他	4	0.5
ヒヤリ・ハット体験がなかった	583	71.9
合計	811	100.0

表 45. 「ヒヤリ・ハット体験」の仕事先・取引先への報告（表 44. 体験のあった 228 名）

	数	%
すべて報告	39	17.1
事例により報告	81	35.5
報告しなかった	108	47.4

表 46. 報告に対する、仕事先・取引先の原因の究明・事故防止のための措置（表 45. 報告した 120 名）

	数	%
原因の究明・設備の改善など十分な対応	55	45.8
対応したが、不十分	54	45.0
対応なし	11	9.2

表 47. 労災体験の有無 (複数回答可) (2,750 名=100%)

	数	%
墜落・転落	65	2.4
転倒	128	4.7
激突	25	0.9
飛来・落下	26	0.9
崩壊・倒壊	17	0.6
激突され	15	0.5
はさまれ・巻き込まれ	34	1.2
切れ・こすれ	115	4.2
踏抜き	9	0.3
おぼれ	2	0.1
高温・低温物との接触	39	1.4
有害物との接触	15	0.5
感電	28	1.0
爆発	1	0.0
破裂	5	0.2
火災	15	0.5
交通事故 (道路)	102	3.7
交通事故 (その他)	31	1.1
動作の反動・無理な動作	54	2.0
その他	13	0.5
労災体験なし	2,380	86.5

表 48. 労災経験 (表 47. 体験のあった 370 名)

	休業無し 数 (%)	4 日未満の休業 数 (%)	4 日以上 の休業 数 (%)	合計 数 (%)
墜落・転落	38 (58.5)	11 (16.9)	16 (24.6)	65 (100.0)
転倒	95 (74.2)	17 (13.3)	16 (12.5)	128 (100.0)
激突	21 (84.0)	3 (12.0)	1 (4.0)	25 (100.0)
飛来・落下	20 (76.9)	5 (19.2)	1 (3.8)	26 (100.0)
崩壊・倒壊	11 (64.7)	4 (23.5)	2 (11.8)	17 (100.0)
激突され	10 (66.7)	2 (13.3)	3 (20.0)	15 (100.0)
はさまれ・巻き込まれ	28 (82.4)	5 (14.7)	1 (2.9)	34 (100.0)
切れ・こすれ	103 (89.6)	8 (7.0)	4 (3.5)	115 (100.0)
踏抜き	7 (77.8)	2 (22.2)	0 (0.0)	9 (100.0)
おぼれ	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (100.0)
高温・低温物との接触	37 (94.9)	2 (5.1)	0 (0.0)	39 (100.0)
有害物との接触	12 (80.0)	1 (6.7)	2 (13.3)	15 (100.0)
感電	25 (89.3)	1 (3.6)	2 (7.1)	28 (100.0)
爆発	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
破裂	4 (80.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	5 (100.0)
火災	13 (86.7)	1 (6.7)	1 (6.7)	15 (100.0)
交通事故 (道路)	72 (70.6)	12 (11.8)	18 (17.6)	102 (100.0)
交通事故 (その他)	22 (71.0)	6 (19.4)	3 (9.7)	31 (100.0)
動作の反動・無理な動作	42 (77.8)	7 (13.0)	5 (9.3)	54 (100.0)
その他	7 (53.8)	3 (23.1)	3 (23.1)	13 (100.0)

表 49. 治療費

	数	%
労災保険「特別加入」受給	36	9.7
公的医療保険受給、自己負担分は私費	46	12.4
公的医療保険受給、自己負担分は民間保険会社の傷害保険	36	9.7
全額仕事先・取引先負担	22	5.9
全額私費	184	49.7
その他	46	12.4
合計	370	100.0

表 50. 労災後の相談（複数回答可）

	数	%
仕事先・取引先の担当者	67	18.1
仕事先・取引先の医師・保健師	13	3.5
プラットフォーム・フリーランス団体	16	4.3
労働基準監督署	13	3.5
保険会社	39	10.5
弁護士・行政書士	14	3.8
同業者	11	3.0
クリニック・病院	33	8.9
その他	2	0.5
以上のいずれにも相談したことはない	230	62.2
合計	370	100.0

表 51. 相談して役立ったか

	相談して、 役立った	相談したが、 役立た なかった	合計
	数 (%)	数 (%)	数 (%)
仕事先・取引先の担当者	50 (74.6)	17 (25.4)	67 (100.0)
仕事先・取引先の医師・保健師	10 (76.9)	3 (23.1)	13 (100.0)
プラットフォーム・フリーランス団体	12 (75.0)	4 (25.0)	16 (100.0)
労働基準監督署	9 (69.2)	4 (30.8)	13 (100.0)
保険会社	31 (79.5)	8 (20.5)	39 (100.0)
弁護士・行政書士	10 (71.4)	4 (28.6)	14 (100.0)
同業者	4 (36.4)	7 (63.6)	11 (100.0)
クリニック・病院	26 (78.8)	7 (21.2)	33 (100.0)
その他	0 (0.0)	2 (100.0)	2 (100.0)

表 52. 労災の可能性の有無（2,750名=100%）

	数	%
ある	147	5.3
少しある	366	13.3
あまりない	1,107	40.3
全くない	1,130	41.1

表 53. 労災可能性についての相談（複数回答可）

	数	%
仕事先・取引先の担当者	64	12.5
仕事先・取引先の医師・保健師	14	2.7
プラットフォーム・フリーランス団体	19	3.7
労働基準監督署	14	2.7
保険会社	20	3.9
弁護士・行政書士	8	1.6
同業者	27	5.3
クリニック・病院	15	2.9
その他	4	0.8
以上のいずれにも相談したことはない	387	75.4
合計	513	100.0

表 54. 相談して役立ったか

	相談して、 役立った	相談したが、 役立た なかった	合計
	数 (%)	数 (%)	数 (%)
仕事先・取引先の担当者	46 (71.9)	18 (28.1)	64 (100.0)
仕事先・取引先の医師・保健師	12 (85.7)	2 (14.3)	14 (100.0)
プラットフォーム・フリーランス団体	13 (68.4)	6 (31.6)	19 (100.0)
労働基準監督署	6 (42.9)	8 (57.1)	14 (100.0)
保険会社	16 (80.0)	4 (20.0)	20 (100.0)
弁護士・行政書士	4 (50.0)	4 (50.0)	8 (100.0)
同業者	15 (55.6)	12 (44.4)	27 (100.0)
クリニック・病院	9 (60.0)	6 (40.0)	15 (100.0)
その他	3 (75.0)	1 (25.0)	4 (100.0)

表 55. 車両の運転・操縦（2,750 名=100%）

	数	%
大型自動車（車両総重量 11 トン以上または最大積載量 6.5 トン以上、乗員定員 30 人以上）	17	0.6
中型自動車（車両総重量 7.5 トン以上 11 トン未満または最大積載量 4.5 トン以上 6.5 トン未満、乗車定員 11 人以上 30 人未満）	65	2.4
準中型自動車（車両総重量 3.5 トン以上 7.5 トン未満または最大積載量 2 トン以上 4.5 トン未満、乗車定員 11 人未満）	49	1.8
普通自動車（上記のいずれにもあてはまらず、乗車定員 11 人未満）	862	31.3
大型自動二輪車（排気量 400cc 超）	5	0.2
普通自動二輪車（排気量 50cc 超 400cc 以下）	48	1.7
大型特殊自動車	1	0.0
小型特殊自動車	3	0.1
原動機付自転車（排気量 50cc 以下）	28	1.0
自転車（電動アシスト付きを含む）	75	2.7
フリーランスの仕事で車両の運転・操縦をしない	1,597	58.1

表 56. 車両の運転・操縦の内容

	数	%
軽貨物・軽車両配送	144	12.5
小型～大型トラックによる運搬・配送	51	4.4
トレーラー（牽引）ドライバー	8	0.7
ダンプドライバー	10	0.9
寝台・霊柩車ドライバー	3	0.3
引越しドライバー兼スタッフ	5	0.4
タイヤチェンジャーカー作業兼乗務員	2	0.2
郵便車ドライバー	4	0.3
廃棄物収集運搬作業	3	0.3
キャリアカー（車両運搬車）ドライバー	6	0.5
バイク便・デリバリースタッフ	29	2.5
営業	564	48.9
リース会社	11	1.0
その他	313	27.1
合計	1153	100.0

表 57. 交通事故を対象とする保険加入

	数	%
あり	908	78.8
なし	180	15.6
わからない	65	5.6
合計	1153	100.0

表 58. 交通事故の経験

	数	%
あり	179	15.5
なし	974	84.5
合計	1153	100.0

表 59. 事故の種類、時期（179名=100%）

	1年以内 数 (%)	1年から5年前 数 (%)	5年以上前 数 (%)	事故はない 数 (%)
人身事故（有責割合 50%超）	12 (6.7)	20 (11.2)	33 (18.4)	114 (63.7)
物損事故（有責割合 50%超）	13 (7.3)	36 (20.1)	47 (26.3)	83 (46.4)
人身事故（有責割合 50%未満）	10 (5.6)	17 (9.5)	37 (20.7)	115 (64.2)

表 60. 事故処理についての相談（複数回答可）

	数	%
仕事先・取引先の担当者	11	28.9
プラットフォーム・フリーランス団体	4	10.5
保険会社	16	42.1
弁護士・行政書士	5	13.2
同業者	2	5.3
その他	1	2.6
いずれも相談したことはない	14	36.8
合計	38	100.0

表 61. 相談が役立ったか

	相談して、 役立った	相談したが、 役立た なかった	合計
	数 (%)	数 (%)	数 (%)
仕事先・取引先の担当者	8 (72.7)	3 (27.3)	11 (100.0)
プラットフォーム・フリーランス団体	3 (75.0)	1 (25.0)	4 (100.0)
保険会社	10 (62.5)	6 (37.5)	16 (100.0)
弁護士・行政書士	4 (80.0)	1 (20.0)	5 (100.0)
同業者	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (100.0)
その他	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)

表 62. 仕事上の運転について不安 (2,750 名=100%)

	数	%
ある	153	5.6
少しある	377	13.7
あまりない	869	31.6
全くない	1,351	49.1

表 63. 不安の内容 (複数回答可)

	数	%
運転する距離が長い	125	23.6
運転・拘束時間が長い	68	12.8
休憩をとる時間がない	65	12.3
夜間運転が多い	35	6.6
高速道路の運転が多い	28	5.3
交代のドライバーがいない	86	16.2
運転以外の作業が多い	53	10.0
運行計画が管理されていない	17	3.2
保険が十分でない	56	10.6
仕事先・取引先が相談に乗ってくれない	26	4.9
自分の健康状態に不安がある	85	16.0
自分の運転技術に不安がある	173	32.6
その他	38	7.2
合計	530	100.0

表 64. ガイドライン*を知っているか (2,750 名=100%)

	数	%
よく知っている	49	1.8
少し知っている	190	6.9
あまりよく知らない	700	25.5
全く知らない	1,811	65.9

*「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」2021年3月26日厚生労働省が発表

表 65. フリーランスの定義*にあてはまるか (2,750 名=100%)

	数	%
あてはまる	1229	44.7
どちらかといえば、あてはまる	631	22.9
どちらかといえば、あてはまらない	284	10.3
全くあてはまらない	251	9.1
どちらともいえない/わからない	355	12.9

*フリーランスの定義とは、①自身で事業等を営んでいる ②従業員を雇用していない ③実店舗を持たない ④農林漁業従事者ではない、のすべてを満たすこととした

表 66. 以下の経験の有無 (2,750 名=100%)

	よくある 数 (%)	たまにある 数 (%)	あまりない 数 (%)	ほとんど/ まったくない 数 (%)
発注者からの仕事が、病気のような特別な理由がないと断れない	215 (7.8)	418 (15.2)	794 (28.9)	1,323 (48.1)
運送の経路や方法、出発時刻といった、業務の遂行に関することが、全部発注者から指示され、管理される	90 (3.3)	221 (8.0)	659 (24.0)	1,780 (64.7)
発注者から、通常予定されている仕事の他に、契約や予定にない業務も命令されたり頼まれたりする	92 (3.3)	379 (13.8)	716 (26.0)	1,563 (56.8)
報酬が「時間当たりいくら」で決められる	269 (9.8)	296 (10.8)	582 (21.2)	1,603 (58.3)
始業や終業の時刻が決められていて、始業に遅れると「遅刻」として報酬が減らされる	66 (2.4)	162 (5.9)	563 (20.5)	1,959 (71.2)
受けた仕事をするのに非常に時間がかかるため、他の発注者の仕事を受ける余裕が全くない	119 (4.3)	435 (15.8)	760 (27.6)	1,436 (52.2)

表 67. 仕事・取引先との関係 (2,750 名=100%)

	数	%
事業組織に組み入れられている (評価/研修制度がある、業務地域や業務日を割り振られ、制服の着用/身分証の携行が求められる等)	110	4.0
契約内容が一方的に決められてしまう (契約内容を交渉する余地がない、報酬の算出基準や方法を発注者に一方的に決定されてしまう等)	299	10.9
報酬が労務内容によって決まっている (時間外/休日手当に相当するものがある、報酬を業務時間に基づいて算出している、一定額の報酬の支払いが保証されている等)	267	9.7
業務の依頼に応じざるを得ない (実際の運用や認識上、業務の依頼を拒否できない、依頼を拒否する他の会社等がほぼいない、依頼を断ると他の仕事に悪影響が生じる等)	102	3.7
仕事先・取引先の指揮監督下で働いたり、時間や場所が拘束される (マニュアル等により作業手順や心構えや接客態度等が指示されている、発注者等に仕事の様子を監督されている、業務量や日時や場所が定められている)	86	3.1
以上のいずれもあてはまらない	1,886	68.6

表 68. 在宅テレワークに該当 (2,750 名=100%)

	数	%
該当する	780	28.4
該当しない	1,658	60.3
わからない	312	11.3

表 69. 以下ガイドライン等を知っているか (780 名=100%)

	よく 知っている 数 (%)	少し 知っている 数 (%)	あまり よく知らない 数 (%)	全く知らない 数 (%)
「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」* ¹	32 (4.1)	69 (8.8)	191 (24.5)	488 (62.6)
自営型テレワークに関する総合支援サイト「ホームワーカーズウェブ」* ²	22 (2.8)	63 (8.1)	148 (19.0)	547 (70.1)
「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン (基発 0712 第 3 号)」	37 (4.7)	54 (6.9)	150 (19.2)	539 (69.1)
このようなガイドライン等があること	26 (3.3)	58 (7.4)	160 (20.5)	536 (68.7)

*¹ 2018 (平成 30) 年 2 月 2 日厚生労働省が発表

*² 厚生労働省「在宅就業者総合支援事業」

表 70. 発注者からのガイドラインの情報提供 (780 名=100%)

	数	%
受けたことがあるし、役立った	26	3.3
受けたことがあるが、役立たなかった	30	3.8
受けたことがない	627	80.4
わからない	97	12.4

表 71. 仕事上のプレッシャーやストレス、問題の増加に直面したときに、以下の反応（自己を危険にさらす働き方）を示す頻度（2,750名=100%）

	まったくない/ 非常にまれである	まれである	ときどきある	よくある	非常によくある
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)	数 (%)
負担だと感じるペース	914 (33.2)	804 (29.2)	793 (28.8)	162 (5.9)	77 (2.8)
長期的には維持できないペース	1,183 (43.0)	755 (27.5)	586 (21.3)	165 (6.0)	61 (2.2)
自分には良くないと分かっているペース	1,147 (41.7)	734 (26.7)	609 (22.1)	181 (6.6)	79 (2.9)
余暇の時も自分の上司、同僚、顧客から連絡を受けられるようにする	1,236 (44.9)	529 (19.2)	540 (19.6)	262 (9.5)	183 (6.7)
余暇の時も仕事の電話を受けられるようにする	1,042 (37.9)	543 (19.7)	612 (22.3)	330 (12.0)	223 (8.1)
余暇でも（通常に加えて）働く指示されなくても、1日10時間以上働く	1,003 (36.5)	591 (21.5)	685 (24.9)	282 (10.3)	189 (6.9)
余暇の活動を取りやめて、その代わりに働く	1,180 (42.9)	664 (24.1)	604 (22.0)	205 (7.5)	97 (3.5)
仕事のために、十分な睡眠を断念する	1,255 (45.6)	685 (24.9)	539 (19.6)	186 (6.8)	85 (3.1)
仕事のために、レクリエーション活動を断念する	1,214 (44.1)	692 (25.2)	573 (20.8)	169 (7.1)	75 (2.7)
仕事のために、プライベートの約束を取りやめる	1,227 (44.6)	715 (26.0)	571 (20.8)	163 (5.9)	74 (2.7)
仕事のために、家族とのレクリエーションを断念する	1,319 (48.0)	697 (25.3)	518 (18.8)	142 (5.2)	74 (2.7)
仕事のために、レジャーによる癒しを断念する	1,276 (46.4)	696 (25.3)	541 (19.7)	161 (5.9)	76 (2.8)
病気でも職場に行く	1,470 (53.5)	567 (20.6)	468 (17.0)	153 (5.6)	92 (3.3)
医者に思いとどまるよう忠告されていても働く	1,826 (66.4)	391 (14.2)	348 (12.7)	117 (4.3)	68 (2.5)
重い病気の症状があっても働く	1,693 (61.6)	452 (16.4)	408 (14.8)	116 (4.2)	81 (2.9)
病気でも、勤務時間・シフトいっぱい働く	1,682 (61.2)	453 (16.5)	423 (15.4)	113 (4.1)	79 (2.9)
病気であるにもかかわらず、無理をして仕事に行く	1,620 (58.9)	484 (17.6)	434 (15.8)	128 (4.7)	84 (3.1)
以下の目的のために、カフェイン、ニコチン、アルコール、薬、その他を摂取する					
仕事のパフォーマンスを上げる	1,368 (49.7)	443 (16.1)	600 (21.8)	223 (8.1)	116 (4.2)
仕事をうまくやりぬく	1,374 (50.0)	433 (15.7)	616 (22.4)	227 (8.3)	100 (3.6)
仕事をかたづけ	1,358 (49.4)	430 (15.6)	617 (22.4)	240 (8.7)	105 (3.8)

表 72. フリーランスとして働くうえで感じていること・望むこと（自由記載）

	件数
収入が不安定、少ない（単価が低い、適切な報酬が欲しいなど）	269
将来への不安、いつまで働けるか	116
社会保障（詳細別表）	98
社会保障以外の社会システムに求める事柄（詳細別表）	80
やりがいを感じる、満足している	81
立場が弱い（搾取される、契約の交渉ができない、契約書自体がない、待遇が改善されない等含む）	78
自由な裁量	74
社会的地位（賃貸の審査なども）	34
時間の自由がきく	24
全て自己責任	22
コロナにより、先行きが見えない	17
悩みを相談できる場所・人がいない	16
自分のペースで働ける	14
ストレスが少ない	13
仕事と家事、子育て、病気との両立ができる。ワークライフバランス	12
仕事が取れない、維持、新規開拓が難しい	11
時間がない、やりくりが難しい	11
孤独	9
もっと仕事がほしい	9
現状を維持したい	9
インボイス制度反対、不安	8
仕事とプライベートの境目が無い、つけづらい	8
健康第一	7

表 72.（別表 1） 社会保障に求める内容

	件数
病気、怪我などで働けなくなったときの補償	26
国民年金のもらえる額が少ない	21
社会保障が不十分	18
健康保険が高いから社会保険に入りたい	16
保険の充実	5
労災に関しての補償	4
雇用保険に入れない	3
人間ドック、予防接種等補助	2
妊娠・育児休業中の手当	1
セーフティネット	2
計	98

表 72. (別表 2) 社会保障以外で求める内容

	件数
補償、保証がない（内容不明瞭）	12
税金が高すぎる	14
コロナで仕事が激減。補助金を出して欲しい。	14
福利厚生がない、足りない	7
最低賃金の保証がない（最低賃金以下で働くことになっている）	19
年収が下がった時などの補償が欲しい（景気も含めて）	3
収入が得られない際の補償体制を整えてほしい	9
国からの援助、補助が増えるとありがたい	2
計	80